



■第5回環境教育検討会

平成18年7月19日(水)

■第2部 第5回環境教育検討会

第2部の「環境教育検討会」では、学校、教育委員会、事務局、アドバイザーによる、平成18年度初回の検討会として、今後の検討会の目的や黒中で進める環境教育の位置づけ等について検討を行いました。

黒中で進める環境教育の取り組みとしては、次の2つの局面があることを確認しました。

□ひとつは、【総合学習、教科を通じて実施する環境教育】です。

環境教育をカリキュラムの中でどのような枠組みとして組み立てるかが課題であり、長谷川先生から組み立てに対する提起を頂き、今後、先生方で具体的に検討を行うこととしました。

□もうひとつは、【エコスクールを題材とするエコライフ（学校生活）】の実践です。

学校の体験、体感プログラム、生徒・先生方の工夫が課題であり、斉藤先生からは自発的に調整する能力開発、自然環境と建築環境との繋がりがづくりに対する課題提起を頂き、継続議題とすることとしました。今後、建築サイドからの積極的な提案が期待されるどころです。

エコ改修事業が終わっても“黒中が環境教育の実践の場”となるよう、(検討会は)お互いに知恵を出し合うこと。そして、そのエコ(学校)ライフを幅広く公開したり、総合学習や教科と関連させることで、学校更には地域全体で環境教育システムの確立を目指すこと、そのための支援体制づくりを目指すこと等を確認しました。

■講師・アドバイザー（敬称略・登場順）

- ・廣谷 純子：エコフローサポート本部
- ・加藤 誠：株式会社 アトリエブंक
- ・廣澤 大輔：株式会社 アトリエブंक
- ・長谷川雅浩：北海道北方建築総合研究所 居住科学部住生活科課長
- ・斉藤 雅也：札幌市立高等専門学校 建築デザイン講師
- ・三浦 利章：北海道教育庁後志教育局 義務教育指導班指導主事